

# 令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画について

## 目次

- (1) 地球温暖化対策
- (2) 廃棄物・資源循環
- (3) 自然環境・生物多様性
- (4) 環境調査



# (1) 地球温暖化対策

## ① COOL CHOICE普及啓発事業

クールシェア、ウォームシェアスポットの設置・  
スタンプラリーの実施

クールシェア:令和元年7月1日～9月30日 …180名参加

ウォームシェア:令和元年12月1日～令和2年3月31日 …160名参加



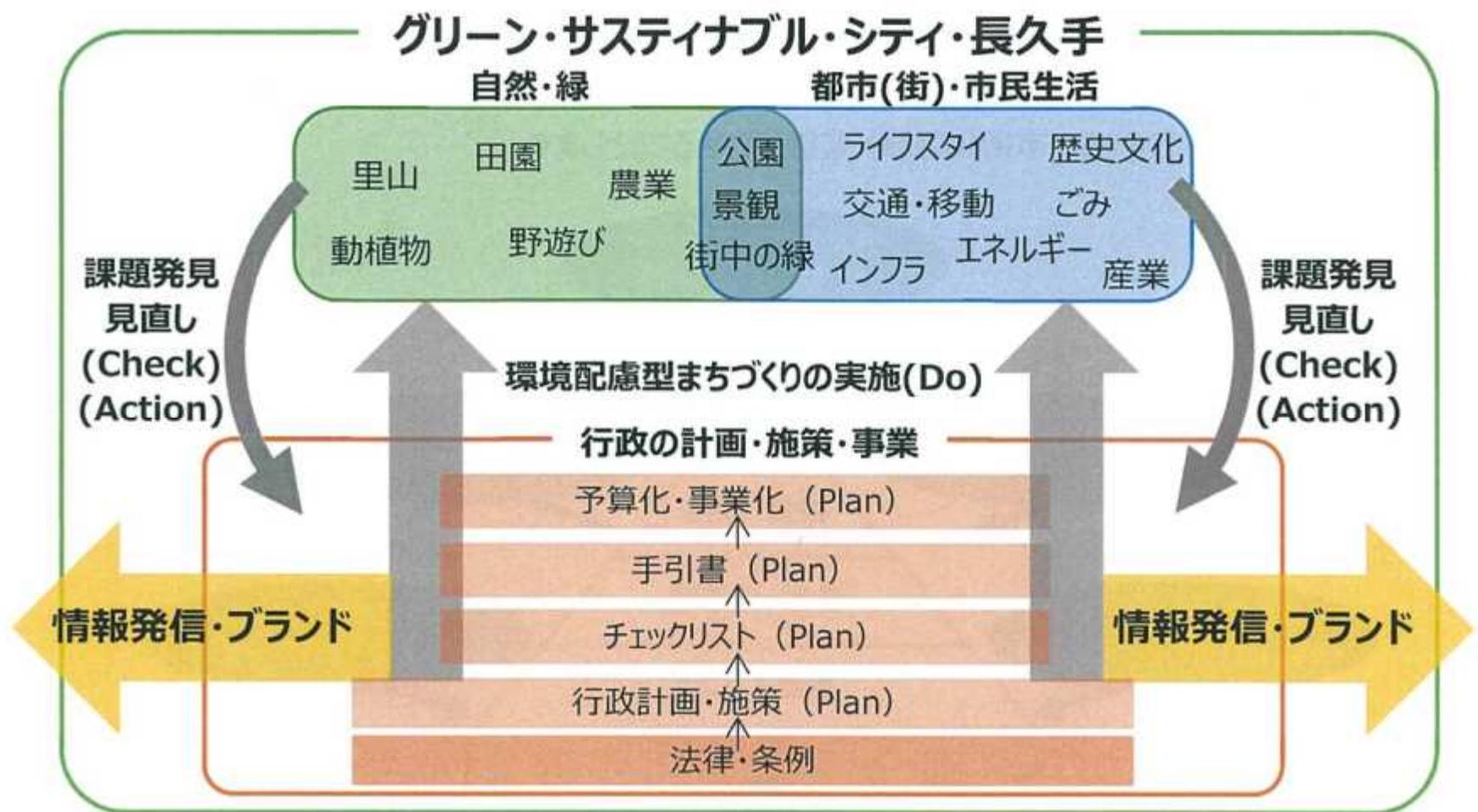
平成31年3月発行ながくて  
クールチョイスマップ



ながくてウォームシェアスタンプラリー

## ②環境配慮型まちづくり施策研究会

公園西駅周辺環境配慮型まちづくりを市全域に波及、発展させるために必要な施策を具体化し、実現方策を検討する研究会を庁内で発足しました。



# (1)地球温暖化対策

## ③平成30年度長久手市地球温暖化対策実行計画事務事業編実績報告

「長久手市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」推進にあたり、平成30年度における、本市事務事業の推進に伴う温室効果ガスの排出等、取組結果をまとめました。

### 【計画概要】

項目	概要
計画期間	平成27年度から平成30年度
基準年度	平成25年度
対象範囲	庁舎及びすべての出先機関の事務・事業
対象となる温室効果ガス	法律で定めている7種類の温室効果ガスの内、排出量の多くを占めている「二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )」のみを対象とする。
削減目標	温室効果ガス排出量について、基準年度比4.0%削減

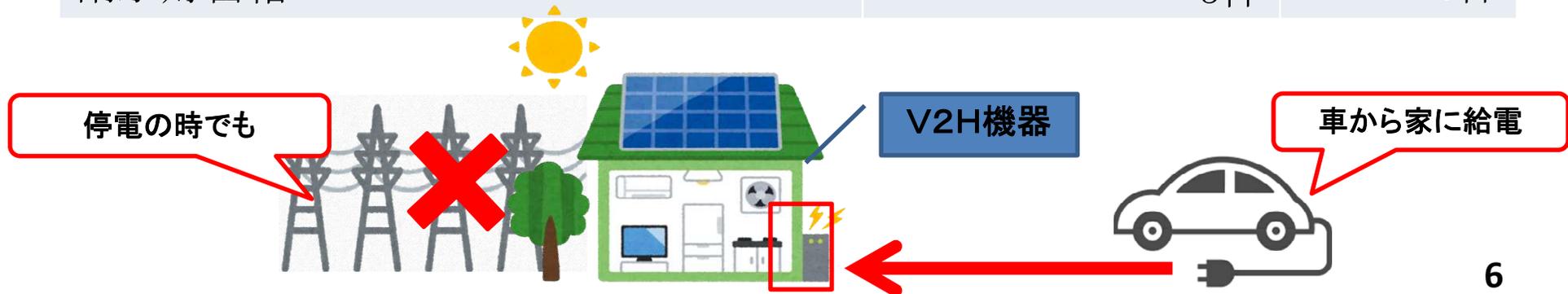
### 【取組結果】

項目	単位	エネルギー使用量			温室効果ガス排出量(t-CO <sub>2</sub> )		
		平成25年度 (基準年度)	平成30年度 (実績値)	平成30年度 基準年度比 (%)	平成25年度 (基準年度)	平成30年度 (実績値)	平成30年度 基準年度比 (%)
電気	kWh	8,225,512	8,690,936	105.7	4,220	3,972	94.12
ガソリン	L	26,140	18,862	72.2	61	44	71.74
軽油	L	15,543	11,935	76.8	41	31	75.10
灯油	L	633	224	35.4	1.6	0.6	34.86
A重油	L	9,620	0	—	27	—	—
都市ガス	m <sup>3</sup>	737,326	766,260	103.9	1,645	1,709	103.88
LPG	kg	488	248	50.8	1.5	0.7	49.60
天然ガス	m <sup>3</sup>	5,260	5,033	95.7	15	14	90.59
				合計	6,012	5,770	95.97

## ① 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金

個人居宅に新たに設置する地球温暖化対策設備に対する補助金

対象機器	R2実績	H30 実績
太陽光発電システム	9件 施設出力合計33.2kWh	17件 64.1kWh
家庭用エネルギー管理システム(HEMS)	11件	10件
リチウムイオン蓄電池	19件 蓄電容量合計115kWh	8件 53kWh
電気自動車等充給電設備(V2H)	1件	0件
断熱窓設備	6件	11件
雨水貯留槽	3件	5件



## ④令和2年度地球温暖化対策設備導入促進費補助金事業について

### ア 主な変更点

対象設備にネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)を新設します。

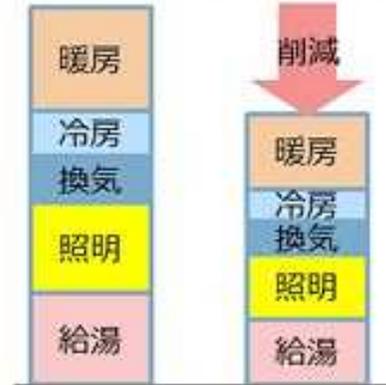
【ZEHのイメージ図】

高断熱で  
エネルギーを極力  
必要としない  
(夏は涼しく、冬は暖かい住宅)



+

高性能設備で  
エネルギーを上手に使う



+

エネルギーを創る

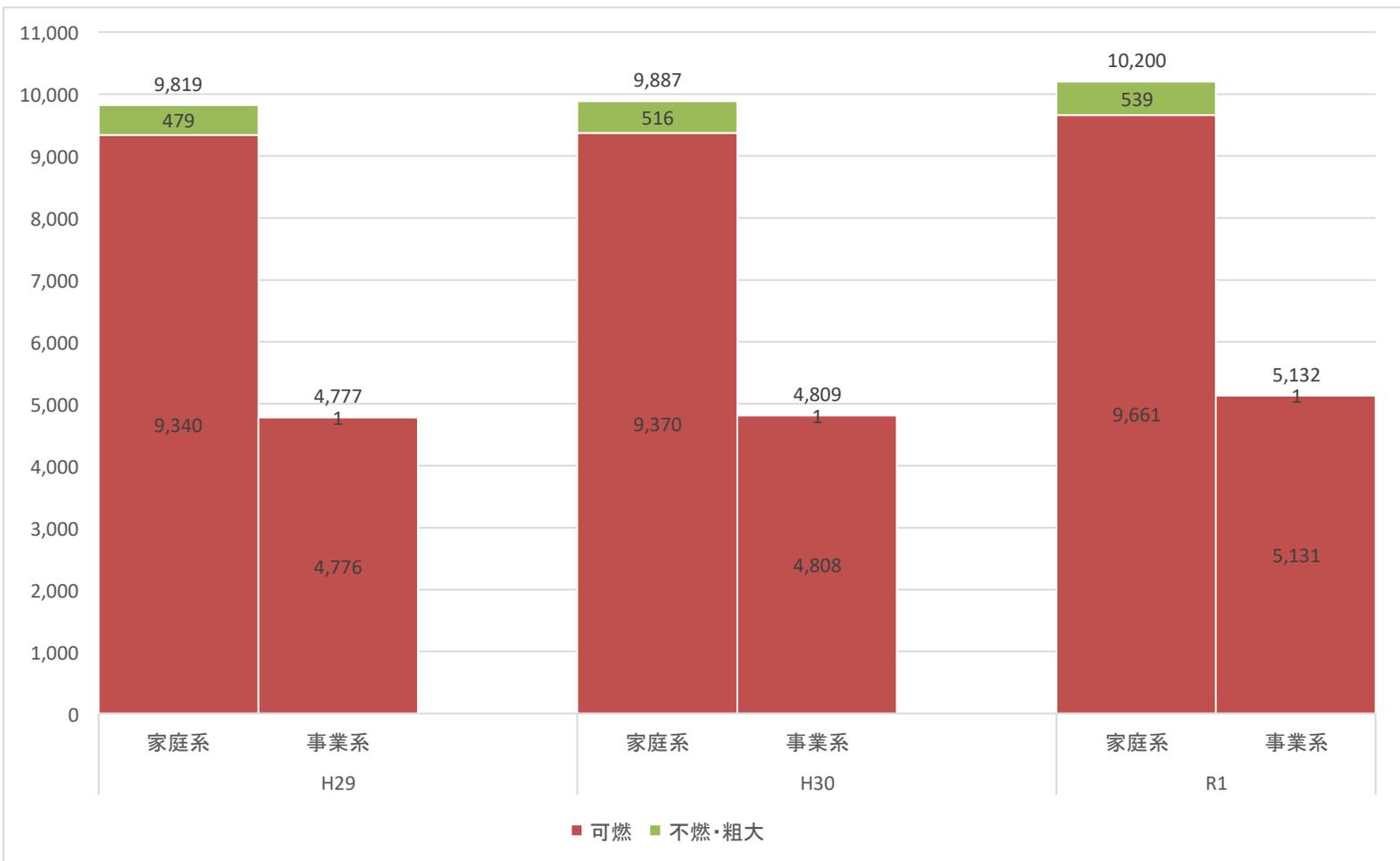


出典:資源エネルギー庁ウェブサイト

## (2) 廢棄物・資源循環

## ① 過去3年間のごみ搬入状況

(単位:t)



家庭系ごみ  
1人1日あたりの排出量

H31.4月~R2.3月  
477g/人・日

H30.4月~H31.3月  
471g/人・日

H29.4月~H30.3月  
475g/人・日

(資料)環境課

### ② ごみの減量に関する市民説明会の開催

晴丘センターが、今後延命化工事や更新工事を控えていること、焼却灰を埋め立てる瀬戸市の北丘最終処分場もいつかは限界がくることから、今から市民にごみの減量化を強く訴えていく必要があるため、小学校区ごとに説明会を開催し、長久手市のごみ及び晴丘センターの現状や、ごみ減量方法、市の施策等を説明するとともに、参加者同士でごみ減量について話し合いました。

(ア) 開催時期 令和2年1月14日～1月31日に6回

(イ) 場所 ながくてエコハウス、文化の家など市内6小学校区の公共施設



### ③ 廃乾電池と小型充電式電池(二次電池)の分別

令和2年1月からながくてエコハウスと出張ながくてエコハウスで回収していた従来の廃乾電池の回収を、廃乾電池と小型充電式電池に分別しました。小型充電式電池の対象となるものは、リサイクルマークのついている「ニカド電池」「ニッケル水素電池」「リチウムイオン電池」の3つです。



### ④ もえるごみ組成調査の実施

2年に1度行っているもえるごみの組成調査を実施します。

従来から実施している家庭系ごみの調査に加え、今回は事業系ごみについても調査を実施します。



### ⑤ 尾張東部衛生組合(晴丘センター)施設延命化工事

晴丘センターは平成4年の本稼働から27年が経過し、主要設備が経年劣化していることから、国の交付金制度を活用し、約10年間の延命化を図る基幹的設備改良工事を実施しています。

- (ア) 実施時期  
令和元年度から令和3年度まで
- (イ) 工事請負業者及び契約金額  
川崎重工業株式会社 51億1,390万円
- (ウ) 地区外搬出
  - ・ 焼却施設の運転を制限するため、ごみ処理を地区外に搬出することを予定しています。
  - ・ 地区外への搬出が必要な期間は令和2年度から令和3年度までです。



### ⑥ し尿等の処理方法変更

し尿等処理量の減少、処理施設の老朽化に伴い、令和4年4月1日以降、し尿等の処理は現在建設中の日進市南部浄化センターで共同処理を行います。

また、尾張旭市・長久手市で構成する尾張旭市長久手市衛生組合については、解散に向けて協議を進めています。



### (3)自然環境・生物多様性

## ① 外来種勉強会～オオキンケイギクは特定外来生物です～

- (ア) 日時 令和元年5月14日(火) 午前9時30分から午前11時30分まで
- (イ) 会場 長久手市立東小学校及びその周辺
- (ウ) 講師 長谷川 明子氏(ビオトープネットワーク中部 会長)
- (エ) 参加人数 50人



## ② 希少種(ウシモツゴ)の保全活動について

### 「生態調査」

- (ア) 実施日 令和元年9月5日(木)
- (イ) 場所 長久手市内3か所



### ③ 希少種の生息状況の追跡調査

平成24年度、25年度の市全域調査にて重点箇所(希少種が多く生息生育すると考えられる箇所)の一つ東山地区について、追跡調査を継続して実施しました。

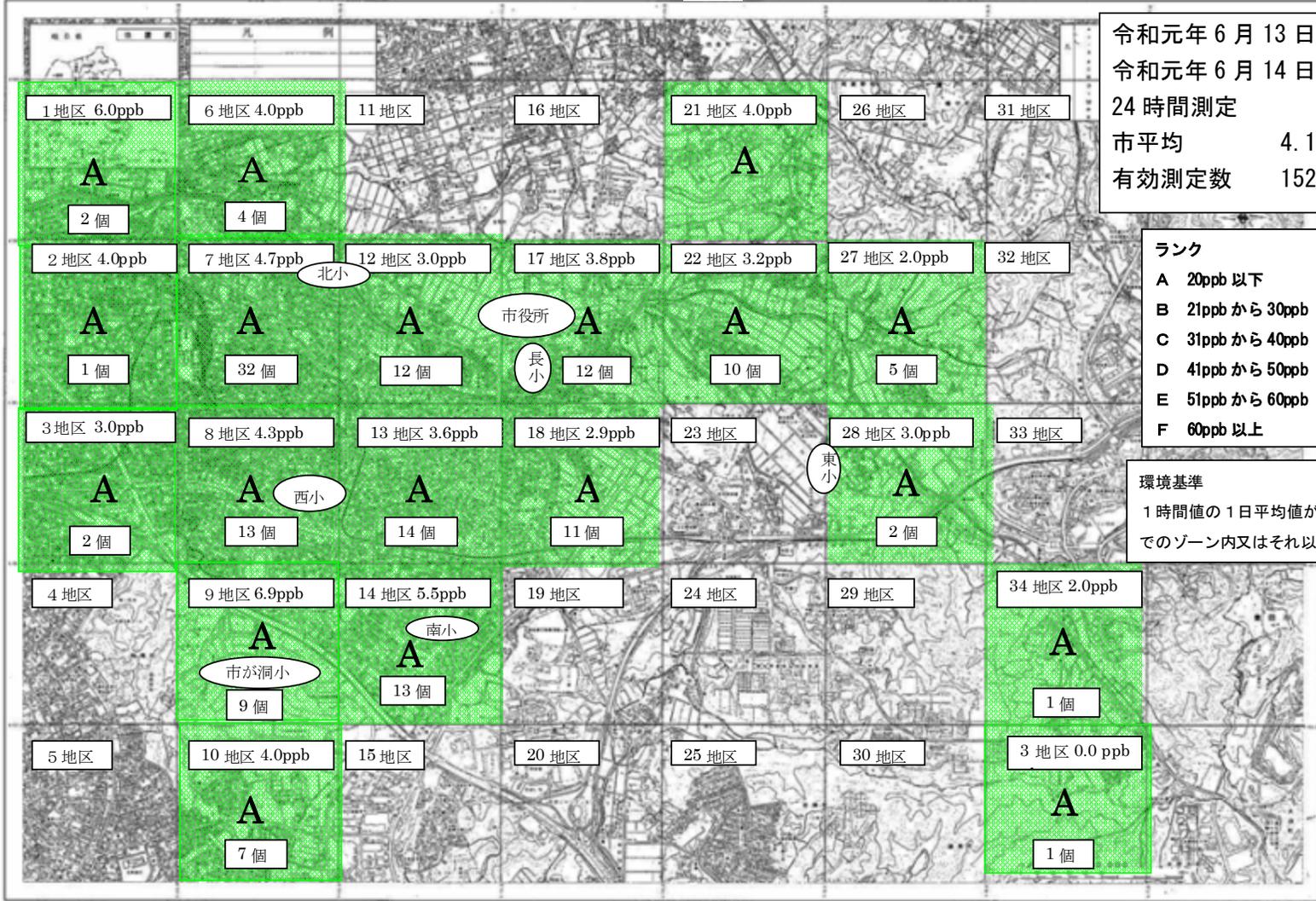


## (4)環境調査

# ① 二酸化窒素(NO2)簡易測定

二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 簡易測定 地区平均

長久手市 全 図



令和元年 6月13日 午前7時から  
令和元年 6月14日 午前7時まで  
24時間測定  
市平均 4.10ppb  
有効測定数 152個

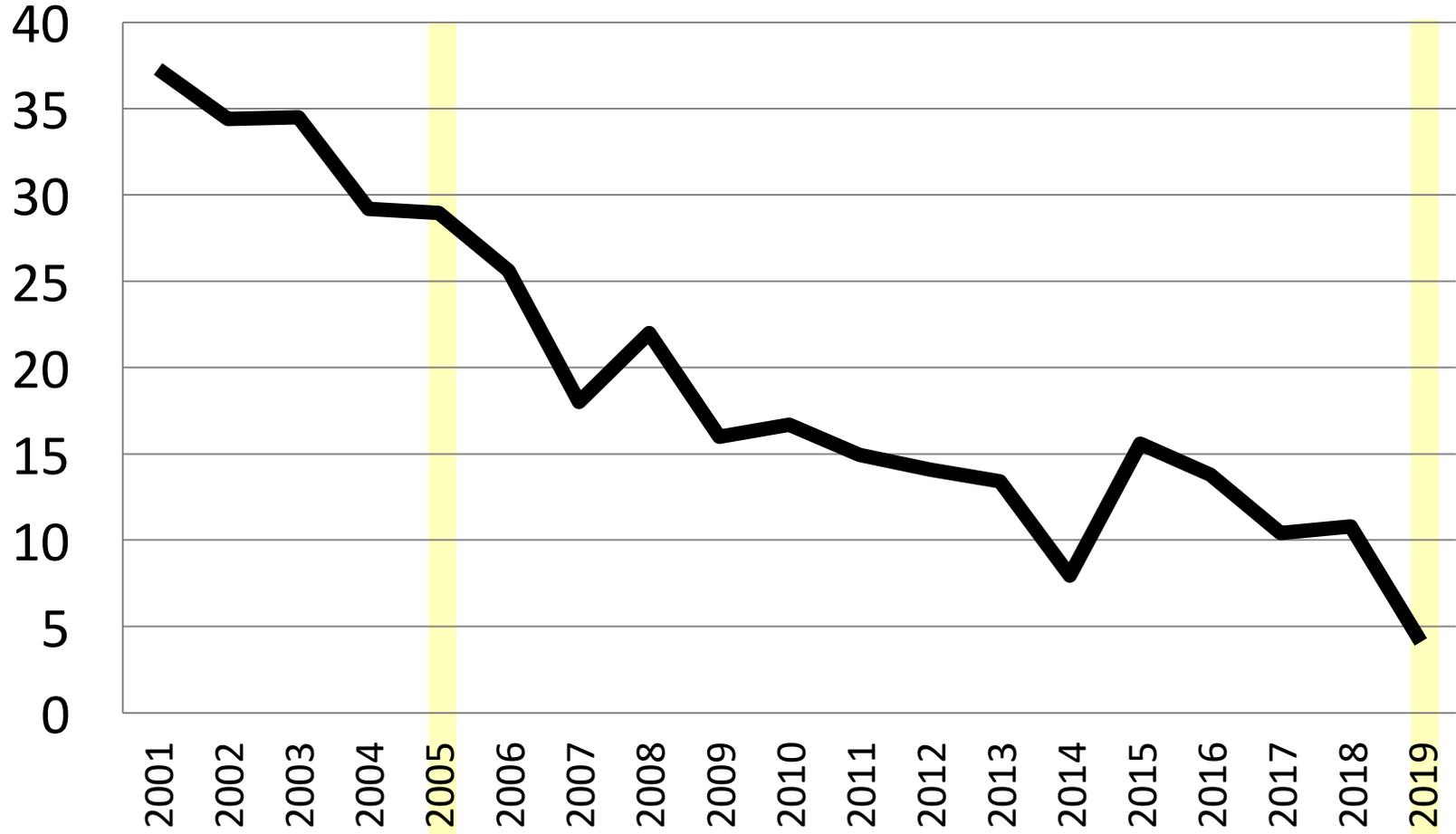
ランク

A	20ppb 以下	あまり汚れていない
B	21ppb から 30ppb	少し汚れている
C	31ppb から 40ppb	-
D	41ppb から 50ppb	汚れている
E	51ppb から 60ppb	-
F	60ppb 以上	大変汚れている

環境基準  
1時間値の1日平均値が40ppb から 60ppb までのゾーン内又はそれ以下であること

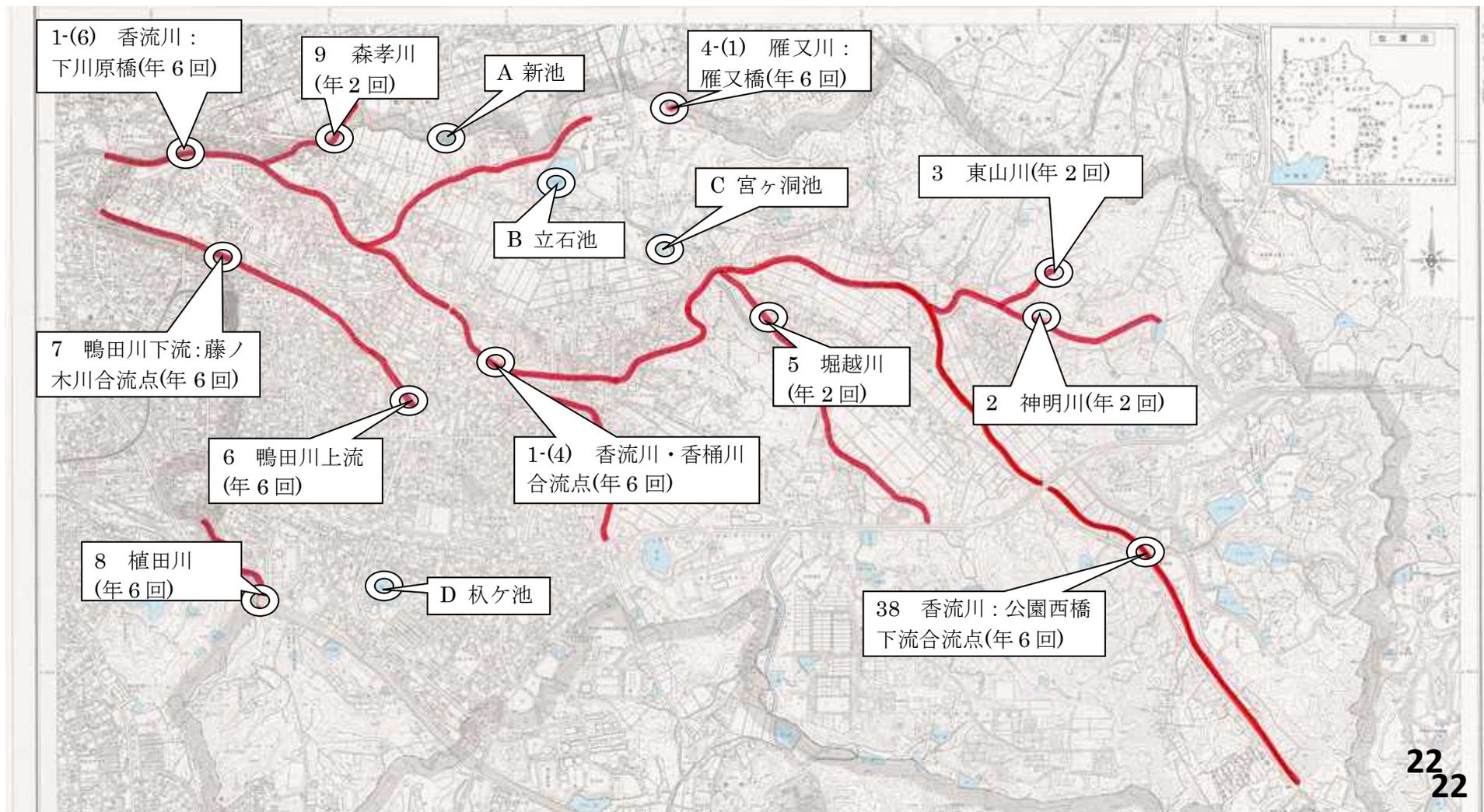
市内地区平均NO2測定結果 経過

濃度 (ppb)



## ② 河川等水質分析調査

長久手市では、昭和58年より香流川、雁又川、堀越川、香桶川、鴨田川、井堀川の水質調査を実施し、水質汚濁の状況を監視してきました。平成10年より、神明川、東山川、森孝川を、令和元年度から香流川 公園西橋合流点を加え、水質調査を実施し、全ての河川の水質調査を実施しています。



### ③ 自動車騒音常時監視調査

道路名	調査地点	調査期間	場所
県道力石名古屋線	杵ヶ池地内	R2年1月29日～1月30日	グリーンロード沿い グリーン動物病院前

評価:等価騒音レベル※ (注)○要請限度以下 ×要請限度超過

	県道力石名古屋線	
時間帯	昼間	夜間
要請限度	75dB	70dB
測定結果	72	67
評価	○	○

※等価騒音レベルとは、不規則かつ大幅に騒音レベルが変動している場合に、測定時間内の騒音レベルのエネルギーを時間平均したものです。

### ④ 大気汚染測定車による大気環境調査について

調査地点	調査期間	対象道路
長久手市横道41番地91	令和元年9月5日0時～9月27日13時	県道力石名古屋線

物質名	環境基準	超過月日
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること	なし
浮遊粒子状物質(SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること	なし
光化学オキシダント(Ox)	1時間値が0.06ppm以下であること	9月10,11,12,14,17,20,25,26,27日
一酸化炭素(CO)	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること	なし
二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること※1	なし
微小粒子状物質(PM <sub>2.5</sub> )	1日の平均値が35 μg/m <sup>3</sup> 以下であること	なし

※ 二酸化窒素については、長期的評価しか示されていないことから、環境基準にてらした調査結果の評価はできないが、参考として、各測定日についての1時間値の日平均値と環境基準値を比較したとのこと。